

本書の主な特徴

- ① 臨床実習指導、作業療法治療、教育・研究に携わっている作業療法士が各専門分野の疾患について執筆しています。
- ② 学生のレポート指導のなかでよく見られる間違いに対して、読みやすく、かつ内容の理解ができるような書き方を赤ペンで添削指導しています。
- ③ 添削部分を添削前(Before)・添削後(after)の比較できるように示すことで、学生の立場と実習指導者の立場、両者にとって理解しやすくなっています。
 - ◇学生の立場：どこが間違っていて、どこをどのように直せばよいのか、指導者に直接指導を受けているような感覚で読み進められます。
 - ◇実習指導者の立場：学生指導およびレポート作成について、どのような指導をすればよいのか？ またどこをどのように添削してあげればよいのか？ など指導のコツをつかめます。
- ④ 学生だけではなく、ライセンス取得後も臨床現場においても、院内カンファレンスや学会報告でも役立ちます。
- ⑤ 執筆者の先生は臨床経験10年前後の若い先生が主であり、自身の指導者としての苦労や陥りやすい点を踏まえた指導内容となっており、新人実習指導者の指導の目安にも役立つ内容となっています。
- ⑥ 購入者特典として、レポート作成時に必要な、Stick Pictureやジェノグラムなどの役立つ素材データをダウンロードできます。

《本書の章立てについて》

本書の章立は、臨床実習で担当する可能性が高い疾患を厳選しました。取り上げた疾患は、身体障害領域、精神障害領域、高齢期障害領域、発達障害領域の4つの領域それぞれにおいて下記の基準で選出致しました。

- ① 学生が臨床実習にて担当することが多いもの
- ② 現場でセラピスト(有資格者)が担当することが多いもの
- ③ 過去の国家試験に出題された疾患であったもの
- ④ 学校にて模擬症例として事例検討などを行うことが多いもの

